

## 派遣国で原爆展を開催するには？

### 原爆展開催手順

- 派遣国のJICA事務所に相談・承諾
- 開催にかかる詳細の検討
- 広島県JICAデスクにメールで連絡
- 申請書類を送付（開催2か月前まで）
- 原爆展資料をJICA中国より発送
- 各JICA在外事務所に資料が到着
- 原爆展・平和展開催
- 広島県JICAデスクに実施報告書を提出
- 貸出資料の返却



## 展示物の貸出/提供について

原爆展・平和展を開催する隊員に広島平和文化センターより原爆展・平和学習用資料の貸し出しや提供を行っています。

### ポスター

- ・サダコと折り鶴ポスター
- ・ヒロシマ・ナガサキ原爆写真ポスター
- ・ヒロシマ・ナガサキオブショナルポスター

### ハンドブック

- ・原爆被害の概要と今なお続く核兵器の脅威

### 映像資料

- ・ヒロシマ・母たちの祈り
- ・ヒロシマの証言
- ・ナガサキの少年少女たち
- ・つるにのって

★資料によって言語が異なります。  
詳細は広島県JICAデスクにお問い合わせください。



お問い合わせ・申請先  
広島県JICAデスク

✉ [jica\\_hiroshima\\_desk@jica.go.jp](mailto:jica_hiroshima_desk@jica.go.jp)



資料発送・広報先  
JICA中国 市民参加協力課  
✉ [jicacic-jocv@jica.go.jp](mailto:jicacic-jocv@jica.go.jp)

世界にヒロシマ・ナガサキを伝える

JICA海外協力隊による

# 原爆展・平和展



JICA中国

## JICA海外協力隊による 原爆展・平和展

### 世界70か国を超えて広がる活動

JICA海外協力隊の原爆展・平和展は、広島県出身の青年海外協力隊4名が、派遣先のニカラグアで2004年に開催したのが始まりです。世界の平和と安定に貢献するJICA海外協力隊の多くが原爆展/平和展に賛同。

以降、原爆展・平和展は派遣中隊員の有志で続ける取り組みとなり、平和に寄与する思いに共感する隊員たちにより、これまで70か国以上で開催されました。



★最新情報は  
JICA中国のHPから  
ご覧いただけます。



現在の広島や長崎、そして日本の姿は、内戦や紛争を経験した人々に復興への希望を語りかけています。日本の平和を築き上げてきた歩みは、絶望から立ち上がり未来へ進もうとする人々に勇気を与えています。

協力隊員が行う原爆展・平和展の内容や開催方法は、国や地域の事情に合わせてさまざまです。被爆の実相やその悲惨さだけでなく、平和の大切さや復興への道りを伝えられるのは、現地の方と同じ目線で活動する隊員だからこそできる平和の活動です。

開催にあたり、出身県や職種などの制限はありません。興味をお持ちの方は、広島県JICAデスクまたはJICA中国までお気軽にご相談ください。



### 原爆展・平和展を開催した隊員の声

#### 折り鶴を通じた平和交流

パラグアイ/青少年活動

語り継がなければ歴史への関心は薄れていく。だからこそ、今「平和とは何か」を見つめ直し広島の記憶を伝えていく場が必要だと感じ、現地の日本人会のご協力もあり、パラグアイ4か所で平和展を開催することができました。会場で制作した千羽鶴や平和のメッセージは、



JICA中国のパネル展に展示する機会を得て、日本でも、平和の思いを共有することができました。

#### 原爆展 × アートプロジェクト



キルギス/デザイン

近隣諸国の影響で、キルギスでは原爆という言葉には配慮が必要でした。「再起」がコンセプトのアート作品の展示と共に、日本の再起=ヒロシマと表現し、原爆写真のポスター展示することで原爆展の開催ができました。これも、現地カウンターパートが深く理解し、ご協力して下さった結果だと思っています。

#### 訓練所の仲間と平和を繋ぐ

「あなたにとって大切なものは何ですか」をテーマに中東及びアフリカ諸国の7つの国・地域で活動する同期隊員11名それぞれが、活動先の青少年と大切なものを考える作品を制作しました。異なる国や地域でも、お互いの大切なものを尊敬し合い、守っていくことが平和を繋ぐ第一歩だと、プロジェクトを通し、思いました。



南アフリカ共和国  
/小学校教育



JICA中国や広島県内移設において、協力隊員による原爆展・平和展の様子を伝えるパネル展を開催しています。また、送っていただいた作品は展示に活用させて頂いています。